

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年8月17日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	29 週	30 週	31 週	32 週	警報レベル		注意報レベル
	7月17日 ~ 7月23日	7月24日 ~ 7月30日	7月31日 ~ 8月6日	8月7日 ~ 8月13日	開始基準値	収束基準値	基準値
水痘	0	0	0	0	2	1	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
感染性胃腸炎	4 2.00	5 2.50	13 6.50	3 1.50	20	12	-
手足口病	15 7.50	18 9.00	19 9.50	12 6.00	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	1 0.50	0	1 0.50	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	20 10.00	10 5.00	5 2.50	7 3.50	6	2	-
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	32 10.67	59 19.67	87 29.00	123 41.00	-	-	-
咽頭結膜熱	3 1.50	0	2 1.00	1 0.50	3	1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	1 0.50	0	8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
RSウイルス感染症	0	0	1 0.50	0	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	1 0.50	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	◎	◎	○
備考	新型コロナウイルス感染症 手足口病	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症

### \*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 栗原支所から

### 【全数報告疾病】

3類:腸管出血性大腸菌感染症 女性1名  
※全数報告疾病 すべての医師から届け出が必要な疾病

### 【定点把握対象疾患】

- ・新型コロナウイルス感染症は前週より増加しています。
- ・感染性胃腸炎は前週より減少しています。
- ・手足口病は前週より減少していますが、「警報レベル」継続中です。
- ・ヘルパンギーナは前週より減少しています。

### 【集団発生情報】

高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。手洗い、換気、環境消毒、PPE着用、必要物品の補充等により、感染予防や拡大防止に努めましょう。

### 【感染症コラム ～新型コロナウイルス感染症～】

- ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は2019年に初めて報告された感染症です。
- ・潜伏期は1～14日間(平均5日間程度)といわれていますが、変異株ごとに特徴が異なります。
- ・発症前から感染性があり、発症から間もない時期の感染性が高いため、感染が拡大しやすくなっています。
- ・症状としては、発熱、呼吸器症状、倦怠感、頭痛、消化器症状、鼻汁、筋・関節痛など多様です。
- ・主な感染経路は、患者の咳、くしゃみ、会話などの際に排出されるウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル(飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸い込む)感染です。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594  
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>